

えらぶ特産品加工場整備事業

シリーズ4

町では現在、町総合育苗センター（正名）においてシマグワやハンダマの苗を栽培しています。

■【シマグワの栽培状況】

シマグワの苗栽培を、平成23年5月から手探り状態で開始し、同年7月下旬までに約1,700本の挿し木苗を栽培しましたが、ほとんど生育せず8月に中止しました。挿し木では思うように成果が出なかったため、7月中旬から自生している低木を採取・移植し、自生木苗の栽培を開始しました。現在ほとんどが生育中で成長も早いですが、採取が困難なため栽培本数は少量となっています。

さらに種子からの実生（みしょう）苗栽培を同年9月から開始しました。一般的に桑は春になると花が咲き実をつけますが、シマグワは台風や干ばつなどで落葉したり、新たな枝が伸びたりすると花が咲き実をつけます。周年実をつける習性を持っているため種子も採取可能ですが、種子からの生育・収穫は多くの時間を要するため、現在この方法での新たな苗の栽培は行っていません。

これらの作業と並行し、専門家による挿し木の指導により改善を行い、同年10月から現在までに、約19,000本の挿し木を行い、約6,000本が苗として生育中です。

今後苗は、来年度からの収穫に向けて、農薬飛散の可能性が少ないほ場に順次移植していく予定です。

○挿し木による苗育成状況



挿し木苗の植付作業



トンネルマルチによる挿し木苗栽培

■【ハンダマの栽培状況】

ハンダマは、比較的容易に増殖ができるため、現在挿し木にて約500本の苗を栽培しており、今後順次増やす予定です。

また、苗は来年度からの収穫に向けて、農薬飛散の可能性が少ないほ場に移植していく予定です。



産業振興・雇用の創出・地域活性化・健康なまちづくり

【お問合せ先】 農政課 内線177